

幸せを運ぶ、小さな緑のカーテン

原 若菜 三重県四日市市 三十二歳

「このベランダで、オクラ育てたい」

狭い小さなベランダを指差し、夫が言った。ベランダには洗濯物を干す以外、何もしていない。殺風景なベランダだった。こんなに狭いベランダで野菜なんて……と初めは思っていた。

「やりたかったらやってみてもいいよ」と軽く返事をした。

すると、夫はせっせとペットボトルで鉢植えを作り、オクラの種を買い、種を植えてベランダに並べ始めた。数日後、ふとベランダに目をやると、小さな緑が芽吹いていた。あっ……殺風景だったベランダが、少しだけやさしく見えた。

夫が植えたオクラはどんどん大きくなり、次々と白い大きな花を咲かせていった。綺麗だった。小さな実をつけ始めた。ワクワクした。夫と初めてオクラを収穫した。いっしょに笑った。オクラの天ぷらを一緒に作った。ねばねば感が、たまらなく美味しかった。何でもない一日が、ベランダのオクラを見るだけで楽しい日々へと変わっていった。

「ねえねえ、ナスもやっていい？きゅうりもやっていい？ミニトマトもやっていい？」

夫はオクラだけではなく、さまざま野菜を育て始めた。小さなベランダは、風に揺れる緑のカーテンになった。ナスの紫の花に、きゅうりやトマトの黄色の花。緑の中に紛れる色彩は、私たち夫婦を優しく包み込んでいた。

「生活の中に緑があるっていいもんだね」

今日も我が家のベランダに、緑のカーテンが広がっている。